

図書館報 ぷらっつ★篠崎



第 031号

FROM館長

特集「ヒヤッとする本」

幽霊譚、ミステリー……。真夏にふさわしい、ヒヤッとする本をご紹介します。

- P2 **そのメロディに魅せられて♪**
「幻夢 シド・バレット・オールタイム・ベスト」
- P4 **人物ブックマーク**
「井上円了」
- P4 **スタッフのセレクション！**
「生きながら火に焼かれて」

ダイヤモンド富士の美しさに感動！

私が最初に勤務した図書館は、富士山の近くにある山中湖情報創造館でした。この時期になりますと、富士登山の格好をした方を多く見ました。今年は富士山が世界文化遺産に登録されたので、さらにたくさんの方が集まると思います。

自宅から富士山を見ることができ、たまに写真を撮っていました。私は夏より冬の富士山が好きでした。冬は大雪が降り、夜は気温がマイナスになることが多く厳しいですが、ダイヤモンド富士がきれいなんです。

ダイヤモンド富士とは、富士山の山頂部と太陽が重なって、ダイヤモンドが輝くような光景が見られる現象をいいます。主

に秋から冬にかけて見ることができます。

富士山の撮影ポイントについては、次のものが便利でした。

「富士山2 絶景撮影ガイド」
中橋富士夫責任編集
モーターマガジン社 74372
篠崎所蔵

これは、撮影地詳細マップや富士山一周早道マップ、ビューポイントや立ち寄り温泉を記したマップも収録しています。



館長撮影の富士山。ダイヤモンド富士ではありませんが……。

江戸川まいにんぐ 発掘 第31回
「西葛西駅前にムクドリ大量発生」



江戸川区内のイベントやスポットをスタッフが調査して身近な情報をお届けする、地域密着型のコーナーです。

夕暮れ時に西葛西駅前にムクドリが集まってくるのをご存知ですか？ その数や1500羽余りで、糞害もさることながら、話し声が聞こえなくなる程ムクドリの鳴き声をするのだそうです。

ムクドリは平成17年頃から周辺ビル等に集まり、日没時間となると駅前のシンボルツリーのクスノキをねぐらとし、夜明けには餌場に分散するようになりました。ムクドリは元来人里に生息する鳥であり、天敵が少なく、温かい都市部、特に駅前広場などは安心して寝られるねぐらとなってきたとのことです。

しかし、人間にとってはあまり有難くなく、全国の他の地域では、対策として、ねぐらの強剪定、ネットかけなどを行っているようです。とはいえ、それでは近くの電線やマンション、ビルなどに分散するだけで、余計に被害が拡散してしまいます。

そこで、江戸川区では現在、共生の道をとっています。広場内の毎日の清掃、高圧洗浄による週一回の清掃などを行い、周辺住民の方にご理解をお願いしています。

鳥にとっても住みやすい江戸川区なんですね。



西葛西駅前周辺の写真（図書館スタッフ撮影）



参考資料

江戸川区ホームページ「西葛西駅前広場のムクドリ対策について」より

講演会「石垣島 山と海とサンゴ礁」

日時：9月22日（日） 14時開演（開場 13時30分）
場所：篠崎文化プラザ 講義室
定員：50名（申込制・先着順）
申込方法：9月7日（土）14時から受付開始（電話でも可）
主催：江戸川区立篠崎図書館
お申込みは篠崎図書館（03-3670-9102）

ライブシネマ篠崎

「コレクター」
（1965年、アメリカ）

監督：ウィリアム・ワイラー
出演：テレンス・スタンプ
サマンサ・エッガー
モナ・ウォッシュボーン ほか

8月11日（日）

14時 開演（13時30分 開場）

場所：篠崎文化プラザ 講義室
定員：70名（当日受付、先着順）
どなたでも参加できます。
入場料：無料

人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

第二十四葉 井上円了

井上円了は仏教哲学者、教育家で、哲学館(東洋大学の前身)を創立し、「お化け博士」の異名を持つ人物です。

1858年に越後国(新潟県)の真宗大谷派慈光寺の長男として生まれました。子どものときから優秀だった円了は、東京大学文学部哲学科に入学。卒業後、諸学の基礎となる哲学を教える学校を作ろうと決意し、29歳の時に哲学館を創立します。資産のない彼にとって、哲学館の経営は困難を極めました。そんな時、勝海舟に招かれ「どんな結構な仕事でも、資金がなくてはいかぬ」と説かれ、それ以降、著作物による印税や全国巡講による寄付金集めなど資金調達に努めました。

また、合理的・実証的な精神に基づいて迷信の打破、妖怪の撲滅を図り、全国各地の不思議現象を調査研究し、「妖怪学講義」という学術誌を創刊しました。迷信の多い当時の日本で高く評価され、明治天皇にも贈呈されました。全国巡講でも「妖怪・迷信」の演題は人気があったそうです。このため、円了は「お化け博士」と渾名されたそうです。全国巡講は33歳から始め、62歳で亡くなるまで続けられ、3,600以上にわたり全国各地で講演を展開しました。その活動は、迷信の打破とともに、民衆に教育機会を開放し、日本の近代化の一因となったのです。

関連書

「井上円了・妖怪学全集」第1～6巻	井上 円了著	柏書房	V147.6イ1-6	中央所蔵
「妖怪学の祖 井上圓了」	菊池 章太著	角川学芸出版	289.1イ	篠崎ほか所蔵
「伝円了」	平野 威馬雄著	草風社	V289.1イ	中央所蔵

スタッフのセレクション! 第31回

篠崎図書館で働くスタッフが選んだおすすめ本を紹介します。

「生きながら火に焼かれて」

強烈な題名に魅かれて手にした一冊ですが、読み終わってから大きなショックを受けました。この本には一人の少女の身に起こった出来事が書かれています。作り話ではなく、この地球上で実際に起こった現実のお話。しかも彼女の話は特別なことではなく、その周辺地域で生きている女性たちのよくある一例にすぎないのです。

彼女の生まれ育った村は「女の子として生を受けること自体が不幸なこと」であり「(女の子には)権利と呼べるものなどなにひとつなく、ひとりで歩く自由さえ与えられない」という所です。そして「名誉の殺人の名のもとに、家の名誉を傷つけた人間は殺してもかまわない、というより

スアド著 ヴィレッジブックス B289ス 篠崎所蔵

殺さないと家の恥になる」という、殺人が正当化されている恐ろしい風習の残っている地域なのです。

「名誉の殺人」の被害者になってしまった彼女が、実際にどのような目にあっただのかは、本を読んで知っていただくとして、その後の彼女はある人に出会い、助けられその村を逃れることができました。そして新しい国で新しい生活を始めるのですが、あれだけひどい目にあっていたながらも前向きな彼女をすごいと思いました。

多くの方にこの本を読んでいただき、この地球上にこのような残酷な事が許されている場所が存在することを知っていただけたらと思います。

編集後記

毎年、水難にあってヒヤッ!としているので、今年は海や川には極力近づきません。(風雲ふわふわ丸) / 夏ですね。かき氷が食べたいですね。私はレモン味が一番好きです。(かき氷職人) / 夏になりまシタ。モウシヨです。ユーツです。体Damageきつとありマス。(M.弱尊) / 今年こそ夏バテをせず夏を乗り切りたいですが、すでに無理そうです(てんてん)

編集・発行: 江戸川区立篠崎図書館
住所: 〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

TEL: 03-3670-9102

[しのざき文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>